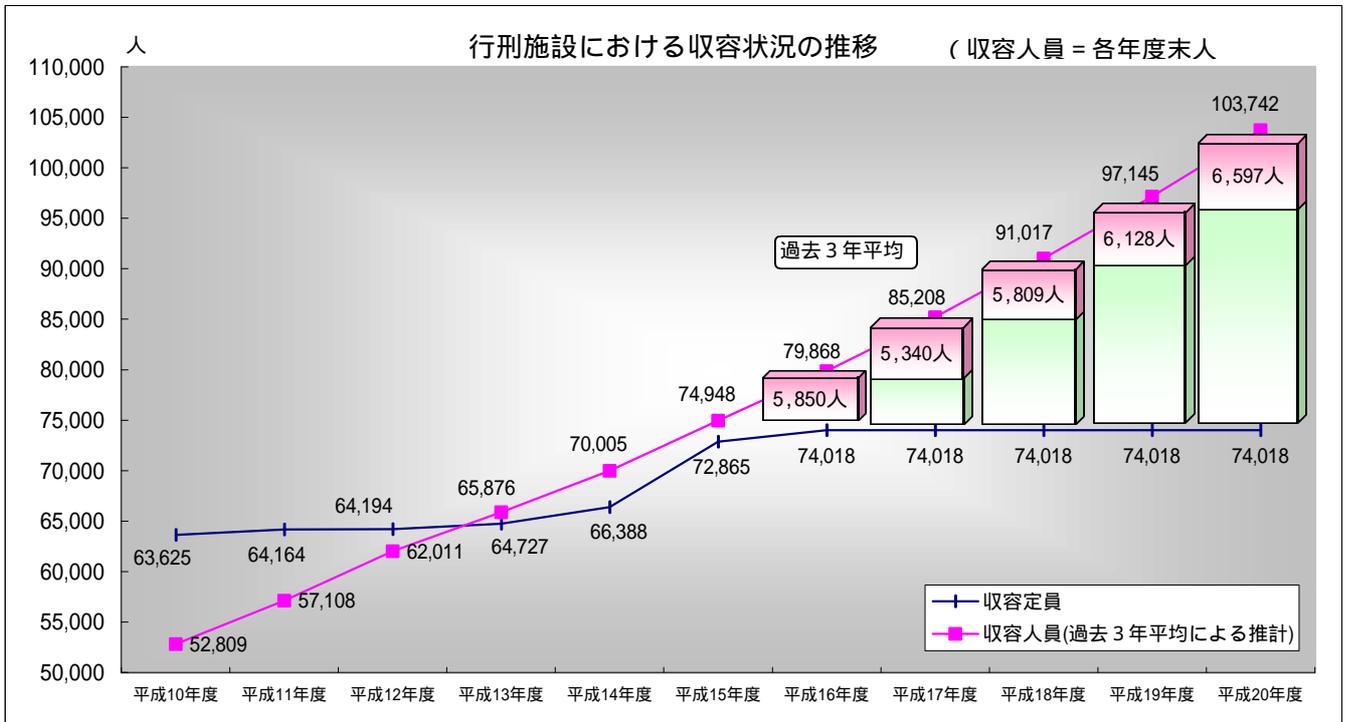


行刑施設の過剰収容問題

過剰収容の予測



(単位: 人)

区分	平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末
収容定員	72,865	74,018	74,018	74,018	74,018	74,018
収容予測人員	74,948	79,868	85,208	91,017	97,145	103,742
過剰収容状況	= -	2,083	5,850	11,190	16,999	29,724

収容者数

区分	平成17年度末	平成18年度末	平成20年度末
行刑施設収容人員	80,000人	90,000人	100,000人

新たに必要収容規模

区分	平成17年度末	平成18年度末	平成20年度末	合計
新設によるもの		5,000人	9,900人	14,900人
新設以外のもの	1,700人	2,500人	10,900人	15,100人
合計	1,700人	7,500人	20,800人	30,000人

新たに必要となる人員

6,700人

新たに必要となる6,700人については、増員、民間活力の導入(民間委託、PFI方式、非常勤職員等)及び業務の合理化・省力化で対応する。